

## 今月の“雪”辱戦

# 吹雪のフィンランドから カナダの新天地まで オーロラを追い求めた冬

文 原 智子  
写真 佐藤幹哉



サーリセルカのオーロラ観測小屋の中で、雪に降り込められてグロッキー気味の筆者。八角形の小屋の真ん中に薪ストーブがあり、その周りをトナカイの革をひいたベンチが囲んでいる。雪のせいが気温が下がらず、暖かい室内だった。一晩でも多く見たいと5夜連泊したが1夜も晴れなかった。昼はパウダースノーでのスキーやクロスカントリー、トナカイぞり、犬ぞり、スノーモービル、サーメ人宅訪問などいろいろ楽しめる。

「皆既日蝕きれいだったね。今度  
はオーロラが見たい！」。89年秋、  
タイからの帰国飛行機の中で言っ  
た私の言葉に、夫は「2000年  
まで待ちなさい。どうせ見るなら  
太陽活動が活発な時期にしよう」  
と答えたのだった。

あれから5年。私は待ったぞ！  
今年、絶対オーロラを見るぞ！  
まるでオーロラにとりつかれたよ  
うに、観測旅行を計画し始めた。

2000年2月22日、私たちは  
フィンエアに中にいた。たくさ  
んあるオーロラツアーの中からフ  
ィンランドを選んだのは、昔から  
ラップランドに憧れていたから。  
しかし、私たちを待っていたのは  
かわいいたナカイだけではなかつ  
た。降りしきる雪、雪、雪……。  
当然夜空は晴れず観測できたのは  
雲の動きと積雪量のみ。サーメ文  
化とのふれあいは満足したけど。

それから1カ月後の3月28日、  
私たちはカナダのフォートマクマ  
レーにいた。もちろん、オーロラ  
を見るために（こりないヤツ）。  
今度のツアー選択基準は晴天率！  
どんなに活発なオーロラが発生し  
ても、晴れなくちゃ見られない。  
今までもわかっていたが、実際に  
5日間も雪に降られるとつくづく  
実感した。そして迎えた第一夜、  
カナダの空に満点の星が広がった。  
肝心のオーロラはごくわずかし  
か発生しなかったが、天頂近くの高  
い北極星を確認し、まずは一安心。  
翌第二夜の2時、念願のはつきり  
した緑色のオーロラが東の空から  
昇ってきた！オーロラは見る間  
に北から西の空へ伸び、きれいな  
アーチ状につながった。やった！  
やっと巡り会えたぞ、美しいオー  
ロラに。その後もオーロラは消え  
ることなく見え続け、深夜2時に

は全天に広がり激しく動き出  
した。ブレイクアップだ！  
オーロラは不規則に動き回り、  
点滅するように出現と消滅を  
瞬時に繰り返す。ふと気づく  
と薄明が迫っていた。

こうして、最終夜にはコロ  
ナ状まで観測し、のべ8夜に  
わたる私たちのオーロラツア  
ーは完結した。

降りしきる雪で、かまくらホテル  
「イグルー」も埋まりそうなほど。  
フィンランドの天候は、いったん崩  
れると1週間から10日間は晴れない



細かな筋のあるオーロラ。赤い色は肉眼では感じにくく、緑色がよく見える。オーロラはブレイクアップすると動きが激しすぎて、カメラでは追えない。ビデオカメラでも感度が足りないので撮るのは難しい。自分の目にしっかりやきつけよう。カナダのフォートマクマレーは、4年程前からオーロラツアーが始まった新しい観測地。北緯56度50分と低い緯度で観測できるので、防寒対策も比較的楽。今年には特に暖かく3月末に雪がなくなり、一晩中外にいてもまったく寒くなかった。筆者の詳しいオーロラ観測結果は、次のURL。http://little.ami.ne.jp/aurora/index.htm

本資料の個人で楽しむ以外の使用、複製、再利用をかく禁止いたします。  
(c) AstroArts / 原 智子 / 佐藤 幹哉 2000.